

中区 区域まちづくり事業 効果検証シート

事業名称				実施主体				
中区地域コミュニティ活性化促進事業				中区役所 企画総務課				
事業目的		事業内容		活動指標		R4	R5	
堺市中区に所在する地域活動団体(自治会等地縁団体・NPO団体・ボランティア団体等)における地域SNS「ピアッザ」での活動に関する情報発信を促進させることで、地域活動団体の人員・担い手不足等の解決につなげ、地域コミュニティの活性化を図る。		大阪公立大学と委託契約を締結し、同大学ボランティア・市民活動センターにより以下のピアッザ利用促進に係る取組・地域活動団体のマッチングを行う。 ①中区に所在する地域活動団体へのピアッザの活用方法の説明による利用意向の向上及び利用意向のある団体への登録支援 ②マッチングにつながる投稿促進のためのイベントを年3回程度実施		地域SNS「ピアッザ」中区エリア登録者数:1000人		974人	1185人	
①妥当性		②協働の視点		③インパクト		④効率性		
△	地域活動団体の人員・担い手不足の解消に資する事業であり、かねてからの区域の課題には合致しているものの、現状、地域活動団体側の活用の意向が少なく、区民ニーズには一致していない状態である。	○	大阪公立大学と委託契約を締結し、ボランティア活動に関するノウハウを熟知した大阪公立大学ボランティア・市民活動センターV-station(以下、V-staionとする。)と連携してピアッザにおける登録者数増加・マッチング促進を図っている。	○	地域SNS「ピアッザ」については堺市各区でエリアを有するものの”地域活動団体のマッチング促進”という位置づけでの活用を行っているのは中区のみであり、また区に所在する大阪公立大学と連携して事業を行っているため、区の特徴を生かした事業であると言える。	◎	地域SNS「ピアッザ」の運営に関しては、広告費によりPIAZZA株式会社側で賄われており、周知用チラシの作成等も含め、市側に一切の費用負担が発生していないため、効率性が高い事業形態であると言える。	
⑤自立発展性		総合評価						
△	昨年度に引き続き、区広報紙等での周知やV-stationによるイベントでの周知を複数回行っているものの、一般市民及び地域活動団体の双方においてまだピアッザに関する知名度は高くない状態であり、SNSとして行政による投稿促進や周知活動が不要な状態ではない。	△	PIAZZA株式会社が一定の目標としているエリア登録者数を指標として設定しており、その目標は今年度で達成された。しかしながら登録はしたものの定期的な発信やメッセージのやり取りなどを行っているユーザは固定化しており、あまり多くないと考えられる。 また、令和4年度に引き続き、地域活動団体のマッチング促進のイベントや投稿を行ったが、団体の利用意向が低い状況であり、委託先の担当者からも、現時点では団体のマッチングよりもユーザー登録数や個人ユーザー間の交流増加、に重点を置いて取組を進めるほうが効果的ではないかとの意見が出ている。					
今後の方向性(課題、改善提案等)								
拡充 継続 見直し 廃止		総合評価の項目で記載したとおり、課題としては「登録済みだがアクティブでないユーザーが多いこと」と「団体の利用意向が低く、マッチングを促進できる段階ではないこと」の2つが挙げられる。 これらの課題の解決のため、一旦、団体同士のマッチングよりも、ユーザー登録数や個人ユーザー間の交流の増加に資する取組を検討し、実施することを優先する。 現在、ボランティア活動に関するノウハウを活かすため、大阪公立大学と委託契約を締結し、V-stationと連携して事業を行っているが、団体同士のマッチングを促進できる段階ではないため、同契約のあり方についても、今後検討していく必要がある。						